

尾道糸崎港尾道地区ウォーターフロントあり方検討会（第4回） の開催について

1 要旨・目的

尾道糸崎港尾道地区においては、平成26年の県営2号上屋への商業施設の開業以降の更なる賑わい創出を図るため、尾道糸崎港尾道地区ウォーターフロントあり方検討会（以下「検討会」という。）を開催し、令和2年に、臨海部における賑わい創出の方向性や空間利用について、とりまとめを行っている。

令和2年以降、クルーズ客船の誘致等、更なる賑わいの創出に向け取り組んできたところであるが、尾道地区のウォーターフロントを取り巻く情勢も変化していることから、今後のあり方を検討するため、検討会を再開する。

2 検討会の概要

(1) 日時 令和8年7月

(2) 場所 調整中

(3) 議事

ア 尾道糸崎港尾道地区の現況について

イ 賑わい創出に向けた方向性や空間利用について

ウ 意見交換・取りまとめ

(4) 構成員

(敬称略・順不同)

	氏名	所属・役職
委員長	井本 伸	尾道市立大学教授
委員	河本 信行	中国地方港運協会尾三支部長
委員	川本 公夫	尾道地区旅客船協会会長
委員	橋村 秀樹	(一社) 日本旅行業協会中四国事務局長
委員	福井 弘	尾道商工会議所会頭
委員	三宅 宏	(一社) 尾道観光協会会長
委員	赤城 尚宏	中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所長
委員	新村 貴史	広島県土木建築局空港港湾担当部長
委員	三島 史雄	広島県地域政策局地域振興担当部長
委員	平谷 祐宏	尾道市長
オブザーバー	佐藤 智幸	中国海運株式会社 代表取締役社長

※事務局：広島県土木建築局港湾漁港整備課

3 スケジュール

今年度中にとりまとめを行い、とりまとめた方向性や空間利用を踏まえ、尾道市と連携し関係者との合意形成を図りつつ、賑わい創出に取り組んでいく。